

鍛えて、ほめて 子どもの可能性を伸ばそう！



子どもが自律的に成長するための原動力となる人格的資質（学ぶ意欲や自尊感情、チャレンジ精神、勤勉性等）を育成するため、鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた具体的実践を県内に広く普及することを目的として、「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトを実施しています。

平成28年度は、両政令市を含めた60市町村から選定された69のプロジェクト推進校において、特に次の活動を具現化した取組を実践しました。

- 児童生徒自身に具体的な目標を持たせる。
- 児童生徒が困難を乗り越えるための最小限の支援を行う。
- 結果だけではなく児童生徒の活動の過程を含めて評価する。

県内の全小中学校において、「^{きた}鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた実践を展開していきましょう。

「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例①「心と体をきたえようプロジェクト」

芦屋町立芦屋小学校

- 対象学年：6年
- ねらい：体力を高める活動を通して、自尊感情を高める。
- 取組概要：自己の目標（めあて）を明確にして学校行事（鍛錬ウォーク等）を実施するとともに、学校行事と関連した業間体育を実施する。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

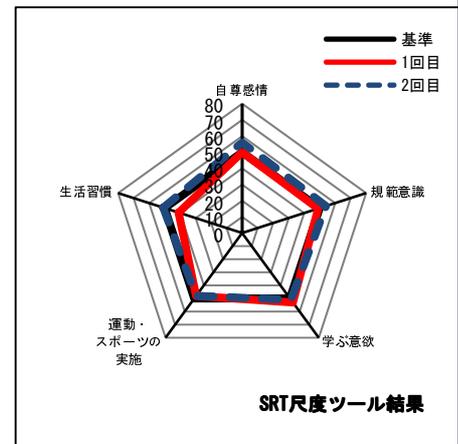
- 学級活動で、全校児童の「あこがれモデル」としての意識を持たせ、学級や自己の目標を設定する。
- 【挑む活動のpoint】（鍛える）
- 鍛錬ウォークや運動会、持久走記録会等の学校行事と関連した業間体育の内容を設定し実施する。
- 他学年等と活動を共に行い、教え合ったり励まし合ったりさせる。
- 保護者や地域の方々に活動への参加や参観をしていただき、称賛していただく。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 学校行事や業間体育の後に、学級の目標や自己の目標について振り返る活動を必ず設定し、自己のがんばりを確かめさせるとともに、教師が活動の評価を基に称賛と価値づけを行うことで、達成感を味わわせる。また、保護者や地域の方からいただいた激励や称賛の感想を紹介する。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・自己の目標を達成し自信を持つことができ、自尊感情が6ポイント上昇した。
- ・体力テストの結果が向上し、体力の向上が見られた。
- ・保護者や地域の方々が積極的に児童に関わるようになった。



事例②「チャレンジ読書（トライ100冊）、チャレンジ大縄跳び」 大刀洗町立大刀洗小学校

- 対象学年：5年
- ねらい：「がんばれた」「できた」という充実感や達成感を持たせ、児童の自尊感情を高める。
- 取組概要：記録を基に目標を設定し、読書と大縄跳びにチャレンジする。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 「チャレンジ読書（トライ100冊）」
 - ・今までの読書の記録をもとに、年間100冊以上及び推薦図書を読破する目標を持たせる。
- 「チャレンジ大縄跳び（ハの字跳び）」
 - ・昨年度の記録をもとに、3分間で200回を超えるという目標を持たせる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

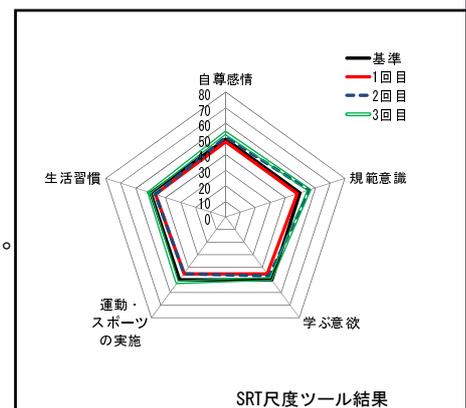
- 「チャレンジ読書（トライ100冊）」
 - ・よさを広げよう「トライ100冊コーナー」の設置、読書カードの記録をもとにした担任の助言、「家読」期間の設定等の支援をして自分の記録に挑むようにする。
- 「チャレンジ大縄跳び」
 - ・金曜日の朝の活動「元気アップタイム（大縄チャレンジ）」を（目標回数を定める→チャレンジ1→振り返りと最小のアドバイス→チャレンジ2→評価）という流れで運営して子どもの本気度を高める。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 「チャレンジ読書（トライ100冊）」
 - ・「読書の木」の掲示で過程や結果の可視化及び「達成カード」でほめる。
- 「チャレンジ大縄跳び」
 - ・発表の場の設定と記録の伸びの可視化（記録の掲示の工夫）でほめる。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・SRT調査結果では、自尊感情の数値が1回目（47）→2回目（49）→3回目（52）と上昇した。



「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例③「めざせ！福岡県No.1！」

八女市立筑南小学校

- 対象学年：4年・5年・6年
- ねらい：「スポコン広場」に年間を通して取り組むことで、児童の体力向上と集団づくりを図るとともに、目標設定→挑む→振り返りのサイクルにより、達成感や成就感を味わわせ学ぶ意欲の向上を図る。
- 取組概要：スポコン広場に各月毎に重点として取り組む種目を設定し、毎週火曜日・木曜日の中休みや体育の時間等を使ってチャレンジする。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 昨年度のスポコン広場の記録及び県大会の結果を提示し、見通しを持たせる。
- スポコン広場の1位校の記録及び学級の記録を掲示し、目標を持たせる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

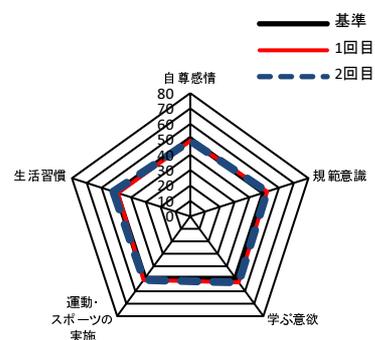
- 月毎に重点的に取り組む種目を設定し、毎週火曜日・木曜日の業間運動の時間や体育の時間等で取り組む。
- 取組の成果を発揮する大会（4・5年生はスポコン広場南筑後地区大会、6年生はNHKかっつび王選手権大会）に出場する機会を設ける。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- スポコン広場チャレンジランキングの記録を随時更新し、記録とランキングの伸びを確認する。
- 活動後、日記に活動の振り返りを書かせたり、グループで振り返る場を設定したりして、記録を向上させるための改善点を考えさせる。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・仲間と協力してする活動を通して、仲間意識を高めることができた。
- ・運動する習慣が身につく、運動場に出て遊ぶ児童が増えた。
- ・SRT調査結果では、生活習慣面での伸びがみられた。



SRT尺度ツール結果

事例④「わくわく・ドキドキ本の旅」

福智町立上野小学校

- 対象学年：全学年
- ねらい：読書活動を通して自尊感情を育てる。
- 取組概要：十分な言語を身につけるとともに、情報を取捨選択し、よりよく生きることができるようにする読書活動を推進する。子どもの読書量を増やすために、個人の読書冊数目標及び学級の目標冊数を設定し、目標達成に向けて、学級全体で読書に取り組む。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 目標達成への意欲を高めるために、現学年の昨年の読書量及び個人目標を合計した学級の月目標と読書量の記録表を図書館前の廊下に掲示する。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

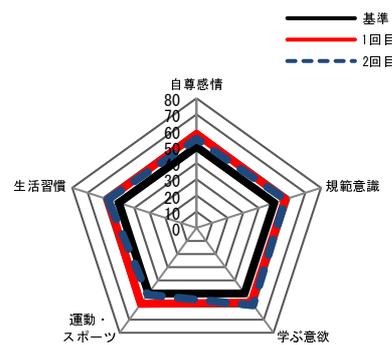
- 学校がもつ機能（町職司書の図書館経営・委員会活動・ノーテレビ・ノーゲームデー・朝読書）と地域の人材（ぶらんこの会の朝読み・昼読み・音読教室）を活用する。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 月ごとの目標を達成した学級には達成証を発行し、達成感を味わわせるとともに、翌月への読書意欲を高める。
- 町立図書館との連携によるポップ作りや友達におすすめの本の紹介により、友達同士お互いのよさを認める活動を行う。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・どの学年もSRT尺度ツールの平均は基準のレベルであり、自尊感情については、1回目と2回目との顕著な違いはみられないが、学級のみんで目標を達成できたことから、自分への信頼感や有能感といった自己効力感をもつことができた。



SRT尺度ツール結果

「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例⑤「エイサーで地域に元気を届けよう！」

築上町立西角田小学校

○対象学年：5年・6年

○ねらい：「自分たちのがんばりで地域の方々に元気を届ける」活動を通して、自尊感情の育成を図る。

○取組概要：発表の場（運動会、花火大会、けやき祭り、校区文化祭）ごとにスモールステップの目標を持たせる。また、アンケートで地域の方々のアドバイスを基に振り返り、課題や成果を見つける。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○自分たちのがんばりが地域の方々の元気の源になっていることを振り返り、「島唄エイサー」を精一杯練習、工夫改善し、自分たちのがんばりで、たくさんの元気を届けようというめあてを持たせる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○発表ごと活動を振り返り、アドバイスやアンケートを基に課題を見つけ、スモールステップの目標を持ち、練習に生かす。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

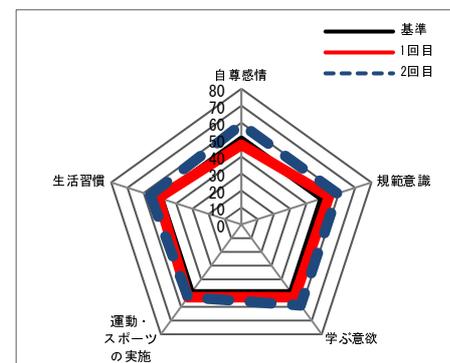
○保護者や地域の方々を対象にしたアンケートを基に、活動の改善を図る。

○最後の発表の場である校区文化祭で自分たちができる最高の「島唄エイサー」を披露する場を設ける。

○最後のまとめに、取組を通しての自分たちのがんばりや成長等を発表する場を設ける。

このような効果があった！（伸ばす）

・SRTの結果、学ぶ意欲(+6.4ポイント)、生活習慣(+5.0ポイント)、自尊感情(+13.1ポイント)、規範意識(+3.4ポイント)が向上している。自分たちのがんばりが地域の方々に伝わり、満足のいく「島唄エイサー」をつくったことが、自尊感情の向上につながった。



SRT尺度ツール結果

事例⑥「地域へ広げよう、あいさつの輪」

北九州市立永犬丸小学校

○対象学年：4年・5年・6年

○ねらい：あいさつ運動を地域に広げる活動を通して、自尊感情を高める。

○取組概要：あいさつ運動を地域に広げるにはどうすればよいのか代表委員会や学級会等で話し合い、様々な案を具現化する取組を実施する。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○近隣の幼稚園、中学校、高校、地域の方々に本校の取組を知ってもらい、一緒に活動したり応援してもらったりするにはどうすればよいのかを話し合う活動を通して具体的な取組を考え、目標を設定する。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

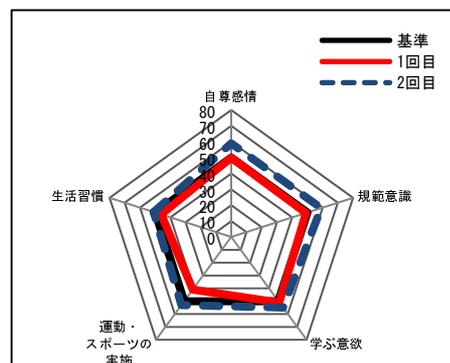
○目標を具現化するために、様々な取組を設定し、ていねいに準備した上で、活動に取り組む。駅前、幼稚園、中学、高校、市民センター、学童保育等、様々な場所に出向き、「あいさつパンジー」の苗を配りながらハイタッチのあいさつを交わす。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

○地域の見守り隊の方々、幼稚園の園長先生、通勤途中の保護者等、多くの方々から、直接お褒めの言葉をいただく。また、児童集会において、今年度のあいさつ運動の取組を運営委員会より報告し、全児童での頑張りを認め合う。

このような効果があった！（伸ばす）

・あいさつすることの大切さ、すばらしさを地域に広げる活動を通してしっかりと実感することができたため、SRTの調査結果では、自尊感情及び規範意識がそれぞれ10ポイント上昇した。
・あいさつ運動を通して、地域に目を向け、自分にできることを考えるようになり、シビックプライドの醸成につながった。



SRT尺度ツール結果

「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例⑦「ふかめ・ひろげ合う『学びの協同活動』」

太宰府市立太宰府東中学校

- 対象学年：全学年
- ねらい：教科授業において、「学びの力」が身についた生徒を育成するとともに、自己存在感を高める。
- 取組概要：「学びの学習過程」・「学びの目標設定」・「学びのグループ活動」を仕組む。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 生徒にとって「難・やや難」の目標を設定する（「背伸び・ジャンプの課題」の設定）。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

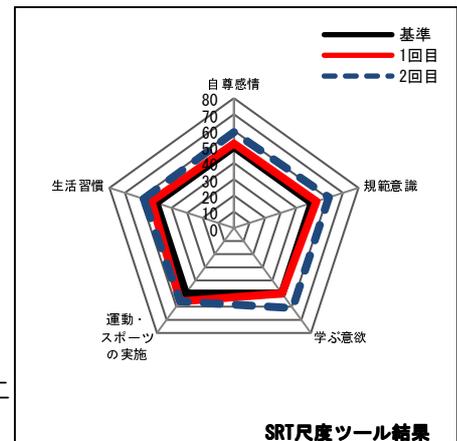
- 男女市松模様になる4人グループでの交流活動により、課題解決を凶らせる。自己・友達・集団の「よさ」の「共通性」・「差異性」を認める互惠関係のある学びを引き出す。
- 「個→グループ→全体」の過程をベースとして、「ふかめ合い」や「ひろげ合い」を図る。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 「つなぐ」段階（終末）において、「分かった」・「できた」・「学びあえた」を実感させ、次時への興味・関心（課題意識の連続・発展）を高める。また、相互評価を行う。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・公開授業（各教師が2回）における、全授業・様々な場面で生徒の積極的な学びの姿を具現化できた。
- ・SRT調査「学ぶ意欲」(+11.0ポイント)、「自尊感情」(+7.0ポイント)が向上した。
- ・学校評価の生徒アンケート「主題研究(積極的に考える)」(+4.2ポイント)、「自尊感情」(+3.7ポイント)が向上した。
- ・全国学力・学習状況調査「自分の考えをふかめ、広げる」の結果が向上した。（「あてはまる」生徒 福岡県63% 本校84%）



SRT尺度ツール結果

事例⑧「博多駅筑紫口改造計画～地域とともに魅力ある街づくりを」

福岡市立東光中学校

- 対象学年：全学年
- ねらい：生徒の主体的・対話的な学ぶ力と自己肯定感・自己有用感を育成する。
- 取組概要：地域社会に対する地域住民と連携した主体的・継続的な取組（街づくり・地域清掃活動・地域防災等）を積極的に企画・実践する。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 新しい地域清掃活動の企画・実施と長期休業中の花の水やり活動を実施する。
- 地域防災活動（両小学校区）に参加する。
- 博多駅街づくり案を作成し、博多駅街づくり委員会に提案する。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

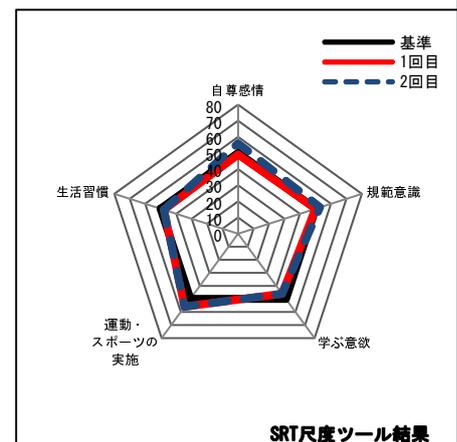
- 地域諸団体と連携した生徒によるスポーツゴミ拾い大会を企画・運営する。
- 部活動生徒による長期休業中の花の水やり・清掃活動を計画的に実施する。
- 地域住民と連携した校区内防災マップ・危険箇所マップを作成する。
- 博多駅街づくり委員会で新しい街づくりへの提言・意見発表を行う。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 新しい行事や活動を通して、地域活動の意義や個人の役割、さらに地域住民との交流を通して、自己肯定感・自己有用感・コミュニケーション能力を身に付けることができたことを評価する。
- 毎時の授業で実践しているアクティブ・ラーニングで身に付けた能力が地域活動等の様々な活動につながったことを評価する。

このような効果があった！（伸ばす）

- ・主体的・対話的に活動し深い学びにつながる活動になった。
- ・交流を通して自分が住む地域を知り地域活動の意義や将来住民としての役割を自覚できるようになった。
- ・常時取り組んでいる『学び合い』によるアクティブ・ラーニングの有効性が実証でき、さらなる深い学びへとつながる活動となった。



SRT尺度ツール結果

